

5

市民の笑顔があふれる健康なまち、そして災害に強い安心・安全なまちづくり

「健康づくり計画」に基づき、

生活習慣病等の各種予防対策の取り組みを積極的に進めています。今や国民の2人に1人の罹患率となっている「がん」に対し、私たちはあまりにも楽観的ではないでしょうか。死亡者数の1位から3位を占めている肺がん、胃がん、大腸がんの本市における検診受診率は、13%にも満たないという受診率の低さが象徴的に表れています。健康推進に向けた広範な市民活動の組織づくりについて協議を始め、早期発見対策として検査の充実と受診率向上を重点に、市民と協働して展開します。

また、ICTの導入を図り、高齢者の医療生活をより安心できる環境づくりや芽生え始めた市民皆スポーツの取り組みを、さらに、(財)石狩市体育協会やスポーツ団体等の市民力と連携して日常化を図り、より「層広範なものとする」など、市民が健やかで心豊かに生活できる環境づくりを目

指します。

■地域防災計画の抜本的な見直し

策定にあたり、中央防災会議やハザードマップに係る北海道との連携を踏まえながら、早急に見直し作業に入ることとし、そのためにすでに新しい

課体制を総務部に設置しています。

さらに新たな取り組みとして、このたびの津波被害から得られた知見を参考に、地区の特性に配慮した地区ごとの防災計画の策定を優先し、どこに住んでも市民に分かりやすく、きめ細かな防災対策を推し進めていきます。同時に、先駆的に取り組んできました地域の防災活動を担う、自主防災組織の連携をさらに強化し、助け合う中で安心、安全な市民生活の確保に努めます。

6

農林水産業の活性化と6次産業化への挑戦

恵まれた自然に囲まれた本市は、新鮮で安全な農水産品の宝庫であり、石狩ならではの「食」に力を注ぎたいと考えています。

これまで都市近郊型農業への転換を進めてきましたが、農業総合支援センターとも連携して、消費者に「いしかり産」を強くアピールできるような新たな特産品の開発を図ります。

新港地域が有する流通加

工と、地元食材を生かした新商品の開発や加工、販売方法を開拓し、第1次産業と第2次、3次産業が連携することで、地域の活性化と同時に経済の伸展を図ります。すでに事業者同士の意見交換や情報交換が進められています。この取り組みを進展させ、全道で取り組んでいる食クラスタの観点もあわせ、石狩ブランドの確立に挑戦していきたいと考えています。

7

個性を生かした厚田・浜益の地域づくり

地域に住む方々の満足度を高め、地域特性を作り上げるためには、市民自らの手で地域らしさ、魅力ある地域の創造に取り組んでいくことの大切さを理解されているものと考えています。そのため地域協議会の役割は、極めて大切なものであり、すでに地域振興に向けた課題を抽出し、その対策への議論や具体的行動が始まっています。市としてもこれらの取り組みを積極的に

支援し、特に第1次産業従事者の住環境の整備に取り組めます。

また、複合産業であります観光は、自然環境や人々の営みにより成り立っており、すでに、地元はもとより、民間、NPO法人の協力でグリーンツーリズムや体験観光などの展開が始まっています。この流れをより一層確かなものとし、地区の振興を進める基軸として推し進めていきます。

私

たちの石狩市は質的変化に柔軟に対応しながら、子どもたちを愛おしみ、安心安全な生活を営むことができ、かつ未来へ向けた発展力なる産財を有する誇りを持った都市です。新たな挑戦の始まりをともに手を携え、強い決意を持って市政を担う所存です。「石狩の遙かなる発展」をつかむために、皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

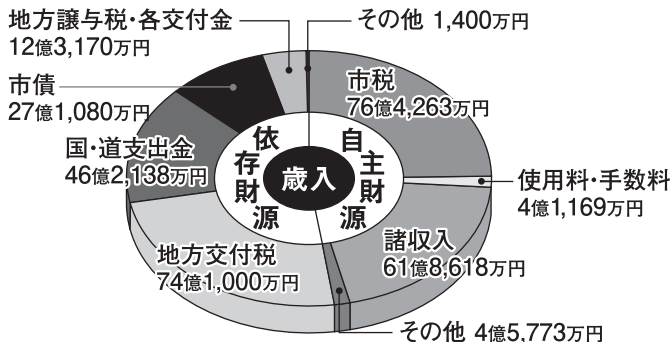


平成23年度 予算の概要

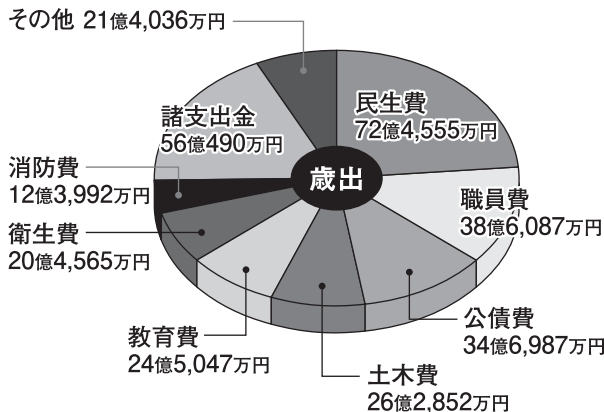
平成23年度当初予算は、市長選挙を控えていたため、義務的経費を中心とした「骨格予算」として編成しました。今回の補正予算で、政策的予算と市民の安全・安心を守るため緊急を要する事業を計上します。 ※第2回定例会提案中の分も含みます。事業費は概数です

一般会計予算額:306億8,611万円

※補正予算6億2,611万円は、第1号補正の東日本大震災被災地応援費2,330万円を含みます



※自主財源：市が自主的に収入できる財源のこと
 依存財源：国や道から石狩市に交付・割り当てられる財源のこと



歳入のポイント

- ・市税 景気低迷を背景とした個人市民税の落ち込みなどから、22年度と比較して約1億7,700万円減の予算となりました。
- ・地方交付税 国の地方財政対策などを踏まえ、22年度と比較して1億3,000万円増の予算となりました。

歳出のポイント

- ・民生費 社会保障費の増加により、22年度と比較して約1億2,900万円増の予算となりました。
- ・公債費 財政再建計画に基づき、市債の発行を抑制した結果、22年度と比較して約1億4,400万円減の予算となりました。

主な事業(追加)

当初(骨格)予算

- 花川北中学校大規模改修事業 4億3,264万円
- 緑苑台小学校増築事業 1億4,204万円
- 除排雪車両購入事業 3,945万円

補正予算

- 防災対策事業 985万円
- 東日本大震災等関連信用保証料補助事業 1,100万円
- プレミアム飲食券事業 225万円
- 石狩浜海水浴場トイレ水洗化事業 6,712万円
- 浜益区農漁業従事者専用住宅整備事業 1,550万円
農漁業者の専用住宅を整備します。
- 働く世代への大腸がん検診推進事業 460万円
- 肝炎ウイルス検診個別勧奨事業 423万円
- いしかりイクメンプロジェクト事業 300万円
父親の子育て参加を推進します。
- 子どもの居場所づくり推進事業 191万円
児童館を拠点に、子どもたちの社会参加意識の醸成を図ります。
- 教育ICT活用推進事業 455万円
- 小学校英語活動推進事業 426万円
小学校に外国人英語指導助手を専属配置します。
- 道路整備事業 4,150万円
北生振10号線、高岡2号線、花川南2丁目通1号、花川南斜風防東添線等
- 学校施設耐震化事業 1,618万円
聚富小中学校・石狩中学校(実施設計)、浜益中学校(耐震診断)
- 東京事務所運営事業 766万円

特別会計・企業会計予算総額:177億7,163万円

※22年度に比べ
4億5,622万円の増

特別会計	国民健康保険事業	71億5,421万円	介護サービス事業	7,951万円
	国民健康保険診療所	1億4,146万円	個別排水処理施設整備事業	3,733万円
後期高齢者医療	5億8,384万円	土地取得	45万円	
介護保険事業	37億5,759万円	特定環境保全公共下水道事業	1億6,790万円	
企業会計	水道事業	収益的支出 15億5,258万円	資本的支出	16億6,610万円
	公共下水道事業	収益的支出 11億6,584万円	資本的支出	14億6,484万円

※老人保健事業は平成22年度で終了しました